



5月社長定例記者会見概要

5月31日午後3時から、テレビ武田社長、ラジオ入江社長、BS星野社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<発表事項>

先日、日経新聞社・テレビ東京・WOWOW・電通・博報堂 DYMP と共同で、動画配信の新会社「プレミアム・プラットフォーム・ジャパン」を7月に設立することを発表した。昨年10月まで、TBSテレビでは独自で有料動画配信プラットフォームを持たず、パートナー各社のプラットフォームにコンテンツを供給する形で、動画配信ビジネスを推進していたが、大きな方針変更になる。サービスの詳細は、夏頃には状況をご説明できる予定。もう一つは、人類初の月面探査レース「Google Lunar XPRIZE」に日本から唯一参加するチーム「HAKUTO」の運営会社、株式会社 ispace と、戦略的なメディアパートナー契約を交わした。7月1日に、新たな宇宙プロジェクトチームをTBSグループ内に立ち上げる。今後、放送やイベントを通じて、HAKUTO や ispace の活動を盛り上げていくほか、世界的に成長が期待されている民間企業による宇宙開発の動きを、幅広く応援していく。

<新体制>

今月上旬の取締役会を経て、6月29日からの新しい役員体制を発表したが、編成局長の伊佐野、メディアビジネス局長の仲尾の二人を新たにボードメンバーとすることにした。二人にはTBSの成長をより加速させるような働きを期待したい。

<編成関連>

2017年度これまでの視聴率は、全日4位、G帯3位、P帯2位の状況。対前年上期では引き続き上昇傾向にある。ドラマでは、日曜劇場『小さな巨人』が世帯平均で13%を超えている。バラエティでは、『マツコの知らない世界』『爆報！THE フライデー』『ぴったんこカン☆カン』『金曜日のスマイルたちへ』『水曜日のダウンタウン』などが堅調に推移し、週平均を押し上げている。報道・情報系では、4月にリニューアルした『Nスタ』が、若年層の支持拡大を目指し、徐々にターゲットの裾野を広げている。

<決算関連>

2016年度の連結営業利益は、198億円となり、「中期経営計画2018」を2年前倒しで達成できた。放送事業での営業利益は、59億円で11億7千万円の増益。これは、TBSテレビ、BS-TBSにおける好調な放送収入や無料動画配信の収入増に伴う増益効果などによる。映像文化事業での営業利益は、61億6千万円で、13億2千万円の増益。『逃げるは恥だが役に立つ』のDVD・ブルーレイ販売や「SASUKE」などのフォーマット販売等が好調で増収・増益となっている。

<営業関連>

2017年度に入り、4月改編のタイムセールスは順調に進んだ。カロリーアップもできて、昨年の熊本地震の反動増もあり、4月は増収というスタートを切ることができた。ローカルタイムは前年並み。タイムセールスで一番大きいのは8月の『世界陸上ロンドン』で、売上を積み上げるべく、セールスに注力している。スポットセールスについては、4月は前年比103.3%で着地した。5月は地区投下量が前年に届かない見通しの中、当社は前年並みの見込み。6月がやや心配だが、地区の水準を上回る売上を目指していきたい。

<事業関連>

映画では、7月1日に「忍びの国」が公開される。主演は嵐の大野智さん。美術展は、6月14日から「国立新美術館 開館10周年 ジャコメッティ展」を開催。熊川哲也 Kバレエカンパニーは、6月23日から3日間東京文化会館で「ジゼル」を上演する。「IHI ステージアROUND東京」で公演中の「劇団☆新感線 髑髏城の七人 シーズン花」は、ご好評を頂き全公演完売。続く“シーズン鳥”は6月27日に開幕。

<ラジオ関連> TBSラジオ 入江社長

2017年4月の首都圏ラジオ個人聴取率調査の結果、TBSラジオは95期連続トップを維持できたものの、前回2月と同じ0.9%という厳しい数字。また、ラジオ全体のSIUも前回同様5.6%で低水準。TBSラジオでは、特にボリュームゾーンである高齢者の流出が目立ち、M3ターゲットは前年同月比で2.7%から1.8%まで低下した。昨年春の改編に伴いリスナーの若返りが見られたが、想定以上に高齢層が離れ、それを補う新規リスナー獲得が十分ではない。今一度、新規リスナーにとって聴きやすい番組作りができていないか、また、新規リスナーに向けた宣伝を検討する必要がある。2016年度決算について、グロスの収入面では、他局分やイベント事業が前年を上回り増収であったものの、費用が大きく、更に第2クォーターからの東京ローカルのタイム・スポットの不調が利益面での苦戦の要因となっていた。しかし、全社で取り組んだ増収推進プロジェクトによって年度末には大きな出稿が実現し、費用セーブ等もあり、ギリギリながら増収に加え増益も果たした。増収増益は13年ぶり。

<BS関連> BS-TBS 星野社長

2016年度決算は営業収入が前期比5.8%増、営業利益が前期比8.3%増、当期純利益が前期比14.1%増。6月の特番は、中垣内監督の采配、石川や柳田選手ら新世代エースの躍動が注目の「男子バレーボール ワールドリーグ2017」を日本と中国ラウンドにおける6試合を6月9日より放送。また、芸術ドキュメンタリー第2弾『中井貴一ヨーロッパ大紀行II』を6月13日と20日に2夜連続放送。事業関連では舞台「ファラオの墓」を6月2日から11日まで、池袋サンシャイン劇場にて16公演行う。 以上